

HAKUOH JHS NEWS

■発行所／白鷗大学足利中学校新聞委員会 足利市伊勢南町4-3 TEL.0284-42-1131



卒業おめでとう

巣立つ42名の 未来に輝かしい 光あれ!!



科学部の思い出

僕の中学校生活一番の思い出は、3年間頑張ってきた部活動です。僕は科学部に所属していました。そこでは、多くの先輩や後輩と友達を作ることができました。



幻の水泳大会

また、僕は部活動を通して学んだことがたくさんあります。一つ目はグループ研究についてです。グループ研究で上手くいかなかつたことや、まとめの論文を書くにあたって、困難なことに直面したことがあります。

しかし、仲間と共に考へることによつて乗り越えらることにござりました。

し、メドレーリレーの100M背泳ぎは苦手で、迷惑をかけらることを心

のためには計画されていましたのである。本番の1週間



最後の体育祭でのミッショニ

星野先生、杉山先生を
りがとうございました。
また、リレーメンバーの
みんな、私を水泳部員として
して迎え入れてくれて大
当にありがとうございました。これか
らも頑張る気持ちを忘れないで
何事にも挑戦したいと思
います。

運動会を控えた二学期が始まつてすぐに、足を骨折をしてしまつた。「最悪だ。」と思うと同時に、「皆に迷惑をかけてしまう。」という気持ちが脳裏をよぎつた。

しかし、事は秘密に進められていた。ソーラン節のクライマックスを飾る重大なミッショ�이 3 年生の皆によつて、私



もしもソーラン節に出でていなかつたら、私は最後の体育祭に爪跡すら残せなかつたと思う。のために皆がしてくれたことは、本当に大変なことだつたと思う。こんな言葉では足りないかもしけないけれど、皆に「ありがとう。」という言葉を伝えたい。

仲間との友情を培った

部活動の思い出

ソフトテニス部

3年生の夏で引退となつた部活を振り返つてみると、数えきれないほど思い出が蘇つてくる。

練習ではみんなで切磋琢磨して技術を磨き、大会では大声で応援して泣いて笑つた。毎日が充実して輝いていた。そして部活はリーダーの意味を学ぶことができた場でもあつた。リーダーは仕切人ではなく、皆から信頼が厚い人というのだ。仕切るのが上手では無かつた私は誰にでもできる仕事を人一倍するようにした。すると、段々と部員から頼りにされている実

感が沸き、私はこれでいいんだと思えた。最後まで明るく堂々と部長を務めることができたと思わ

てくれた部員たちにはいくら感謝してもしきれない。後輩たちは仲間と一緒に取り合つて部活を作り上げていって欲しいと思う。二年半本当にありがとうございました。

十束さやか

バスケットボール部

授業が終わり、バスケット部員はすぐに部活動に行く準備をする。体育館では、バスケ部伝統の「お願いします！」と大きな声で一礼をする。そして今日も厳しい練習がスタートする。

私がバスケ部に入部したのは、二つ上の兄がバスケ部に所属し、日々頑張っている姿を目撃した。いつの日か憧れを抱くようになったのが

代では、地区大会を勝ち上がり、2年連続県大会に出場。とても素晴らしい成績を残し共に経験させてもらいました。先輩達が引退してからは、部員が少なく、練習や試合ができない状況でした。時には一人で練習することもありました。そんな

ときかけです。先輩達の上り、自分には、リーダーシュート！って言い合えたりがとうございました。松島嵩

サッカー部

僕はサッカー部が本当に楽しかった。僕たちのために毎週来てくれるコート。シュートの角度や走り方など数学的にとても分かりやすく説明してくれる滝沢先生。やる気があるやつもないやつもサボるやつもサッカージャンパーといろんな人がいて、面白くて飽きることはなかつた。正直こんな個性的な人たちをまとめていた自信はない。試合で勝つことも少なかつた。でもサッカー部に入つて、部長になつて本当に良かつたと思つて、実験器具が粉失しだりしまつたりして宮田先生に注意を受けました。しかし僕はそんなことがあって、実験を続けようとして、さらに注意を受けました。そこで初めて自分のやるべき事に気が付き、管理票を作成するなどの対策を立てました。

僕はサッカー部が本当に楽しかった。そこで、実際に練習を始めたときに、先輩達が引退してからは、部員が少なく、練習や試合ができない状況でした。時には一人で練習することもありました。そんな

ときかけです。先輩達の上り、自分には、リーダーシュート！って言い合えたりがとうございました。松島嵩

そこからは訓練の連続でした。一番大変だったことは実験器具の取り扱いについてです。僕が部長になつてしまふ。そこで、実験器具が粉失しだりしまつたりして宮田先生に注意を受けました。しかし僕はそんなことがあって、実験を続けようとして、さらに注意を受けました。そこで初めて自分のやるべき事に気が付き、管理票を作成するなどの対策を立てました。

新入生が入部してくれて嬉しかつたです。

私は文芸部が大好きで

くる本当に居心地の良

い部活でした。できるこ

となら本当は、ずっと部

室で馬鹿な話をしながら

活動をしていきたいです。

こんなに充実した活動が

できたのは部員のみんな

と宮谷先生のおかげです。

そして、私達をいつも見

守つてくれていた部室に

も感謝しています。本當

にありがとうございました。

山崎奏音

新入生が入部してくれて

いた。思いやりと笑顔が溢

れている書道同好会が大

好きです。

松島美羽

日本伝統文化同好会

日本伝統文化同好会</

発見があつた
スキー教室
1年 住吉 優楽



卒業制作として陶壁画を作成しました！この後一度焼き、色付けし、そしてまた焼くという工程を経て完成となります。みんなで協力し楽しく作成することができました！

3年生 卒業制作



アート たんけん隊

られて美術館に行き、退屈していた私を母が見かねて、受付にあつた「アートたんけん隊」をやつてみたら?と言われたのがきっかけでした。アートたんけん隊とはパンフレットにのつている質問に展覧会や図録を見て答え、スタンプを集めたら、このような賞がもらえます。私は小学生の時から4年間アートたんけん隊を続けています。



は彼女が残した言葉の二つで、私が大切にしている言葉です。小学生の頃私はいつも誰かに合わせようとして自分の意志で何かを決めることが少なく、優柔不断な性格でした。中学生になつてからも人の意見に流されやすく、何事も人任せにしていた私がこの言葉で考え方方が変わりました。また「笑つてあげなさい。笑

A young woman with long dark hair, wearing a light-colored school uniform consisting of a blazer, white shirt, and tie, stands behind a wooden podium. She is speaking into a microphone and looking down at some papers she is holding. The background shows a room with wooden paneling and a chalkboard.

立志式 軌跡

小暮 勇輝

僕は14年間生きている今まで色々なことがあつた。記憶的な問題かもしれないが、中学入学前の12年間よりも中学校入学後の2年間の方が内容の濃いものだと感じている中学生になるまでの12年間、僕は心の窓を閉じ、さらにカーテンまでもかけていた。何度も隙間から光が差し込んできたこともあったが、その都度僕はカーテンをもつとぎくつく閉めていた。小学校卒業が近づいてきたある時、ある一冊の漫画を手に取つた。そこで主人公とその仲間達が楽しそうに笑つている光景を目にして。僕は「いいなあ」と客観的に漫画を読み進める内に、主人公とその仲間達は悲しい過去を垂り越え、今、笑つているということを知つた。そ

いたくなくとも笑うのよ
笑顔が人間には必要な
の。」これも彼女が残し
た言葉の一つです。私は
この言葉を聞いて、「こ
の人は本当の優しさと本
当の強さをもっている人
だ」と思いました。笑い
たくなくても笑うことが
できる、笑つてあげなき
いと他人を思い、教える
ことができるのは彼女の
強さだと感じました。私
は昔からとても泣き虫で、
メンタルが弱いので、ず
つと心の強い人に憧れて
いました。しかし、この
言葉を聞いて憧れが目標
に変わりました。

ここで僕は他人事ではないと思った。自分がどれだけ人生イージーモードなのかを悟り、愚かなことを知った。そして、12年という年月をかけて、やっと重い窓を開けたのだ。

13年目、僕は中学生になつた。新たな場所で、僕は「目立とう！」といふ強い気持ちで溢れていた。そこで僕はある役を演じることにした。するとそれは大成功であり、みんなと馴染むことができ学校生活も楽しくなつた。また、嬉しいことに頼られることが多くなり、頼られることの嬉しさに気が付いた。この頃から自ら積極的に行動が出来るようになつたと思える。14年目、僕はありのままの自分、素の自分を出さなくていいのか？と違和感を覚えた。そこで僕は

ます。他人を変えることは困難ですが、自分の短所に気が付き変わりたいという思いがあれば、人は短所を長所に変えることができます。言葉には人を救う力があります。彼女の言葉にどれだけの人が救われ、そして変わることができたのでしょうか。

私は将来、マザー・テレサのような強く優しく、そして、人を救うことができる人になりたいです。未来の私は今の私が創っていくので、家族に思いやりをもつて接するなど小さなことからやつてみたいと思います。



立ち止まつて、しつかりと考え、しぶとくよじ登っていく。うとうとうと思う。同時に中学生の今を存分に楽しみきろうと思う。こんなにも、心の変化を施してくれた友達にはとても感謝している。将来、僕は友達のような優しい人を助けられるような仕事をしたいと思う。

思いきつて、役を捨てた
今まで築いてきたもの、崩れるのではないかと不安もあつた。しかし、何かも変わらずみんなは仲良くしてくれた。そして現在に至る。

僕は自分の軌跡か
様々なことを学んだ。友達の温かさや、何かに生懸命になることの有意義さなど数え切れないほどだ。僕はこれから高校生となり、大人へとなっていく。僕は今まで支えてくださった人達に感謝して、また、これから友達として、また、これから友達になってくれる人達にも感謝して生きていこうと決意した。大人になるところからの壁にぶつかるであろう。その際には一度